

二級河川小本川筋ほか河川等維持修繕業務委託

特記仕様書

(適用範囲)

第1条 本特記仕様書は、二級河川小本川筋ほか河川等維持修繕業務委託に適用するものであり、本特記仕様書に定めのない事項については「土木工事共通仕様書（岩手県県土整備部）」（令和6年4月1日以降適用）に基づいて行なうものとする。

(業務目的)

第2条 本業務は、県管理河川、砂防及び海岸区域等において、管理上支障のある埋塞土砂の除去、除草、伐木等、出水時の応急作業（土のう積）、および管理施設の修繕等、維持管理上必要な業務を行なうことを目的とする。

(業務内容)

第3条 本業務の業務内容は以下のとおりとする。

- 1 管理上支障のある障害物等の除去、出水時による応急作業、および管理施設の修繕等について、監督職員が指示する業務を速やかに実施する。
- 2 監督職員の指示に基づき作業を実施した際は、実施の都度、作業人員、使用材料、作業時間、使用機械を記載した作業日誌、および使用した材料、施工状況が分かる写真を提出する。
- 3 作業指示は口頭による指示のほか、位置コミを介して行なうものとする。（位置コミに関しては別紙「位置コミ仕様書」による。）

(積算)

第4条 本業務は、上記の業務内容について、監督職員の指示に基づき実施するものであるため、実施内容、作業規模が積算内容と異なる場合がある。

- 2 監督職員の指示に基づき実施した業務については、国土交通省土木工事標準積算基準書及び岩手県土木工事標準積算基準書（以下「積算基準」という）に記載のある工種については積算基準により積算を行なうものとするが、特殊な現場条件下等により積算基準を適用することが不適当と認められる場合は作業人員、使用材料、使用機械等に基づき、監督職員と協議の上、設計変更の対象とする。

(事前調査)

第5条 支障木の伐採等、希少野生動植物への影響が懸念される作業を実施する際には、事前に町村の教育委員会の調査を受け、調査完了後に実施すること。

- 2 障害物（倒木・流木・ごみ等）処理にあたっては、周辺の環境等十分注意を払い実施すること。

(業務管理)

第6条 受託者は、あらかじめ技術者名、連絡系統図（夜間・休祭日含む）等を記載した業務計画書を提出するものとする。

- 2 作業終了後、別紙1及び別紙2に作業日報・写真・図面・数量等必要書類添付のうえ監督職員に提出し、確認を受けるものとする。また、写真管理は、使用した材料、および着手前、作業中、完成状況が分かるよう記録すること。

(協議調整)

第7条 本業務に係る地域住民、漁協関係者等必要な関係機関と十分な協議調整を図り、円滑に業務を履行できるよう努めなければならない。

(位置コミの利用料)

第8条 本業務で利用する位置コミについては、当所が別途発注する業務と本業務で利用料を分割負担するものとする。

(交通誘導警備員の計上)

第9条 交通誘導警備員数については、以下のとおり計上しているが、道路管理者及び所管警察署との打合せの結果または条件変更に伴い員数に増減が生じた場合は、監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

交通誘導警備員 B	25 人	昼間勤務（交代要員無し）
-----------	------	--------------

(その他)

第10条 業務に疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。